



## 小 論 文

試 験 科 目	ペ ー ジ	解 答 用 紙 枚 数	時 間
小 論 文	1～7	1 枚	90 分

### 注 意 事 項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけない。
2. この問題冊子は7ページある。印刷不鮮明の箇所などがある場合には監督者に申し出ること。
3. あらかじめ届け出た試験科目(英語、小論文の内の1科目)を解答すること。
4. あらかじめ届け出た試験科目と問題冊子が一致しているか確認すること。
5. 解答はすべて別紙の解答用紙に記入すること。
6. 解答用紙の指定欄には必ず受験番号を記入すること。
7. 解答用紙の評点欄には何も記入しないこと。
8. 解答用紙は持ち帰らないこと。

## 小 論 文

以下の資料は、酒井真弓著『ルポ 日本のDX最前線』（集英社インターナショナル、2021年）第2章からの抜粋である。これを読んで、次の設問すべてに答えなさい。

問Ⅰ 資料を500字以内で要約しなさい。

問Ⅱ 資料をもとに、AIと人間の関係について、あなたの考えを600字以内で述べなさい。

解答は、解答用紙の指定された箇所に記入すること。解答にあたっては、解答用紙の1マスに1字を使い、句読点、引用符、カッコなどはいずれも1字として扱う。ただし、算用数字およびアルファベットは1マス2字とする。

## < 資 料 >

人気声優の朝は早い。早朝、迎いの車に乗り込み、テレビの生放送に向かう。7時から7時半までの本番が終わると、10時からテレビアニメや海外ドラマのレギュラー収録を行う。遅ければ収録が終わるのは21時で、真<sup>ま</sup>っ直ぐ帰るかというところではない。単発のナレーション収録やライブ配信に駆けつけ、帰宅は深夜。そしてまた、夜明けを待たずに迎いの車がやって来る。

実はこれ、『鬼滅<sup>やいば</sup>の刃』の主人公竈門炭治郎<sup>かまどたんじろう</sup>役をはじめ、多くの作品で活躍する人気声優・花江夏樹<sup>はなえなつき</sup>が、朝の情報バラエティ『おはスタ』に出演していた頃のスケジュールだ。

土日は劇場版アニメ、いわゆる長尺の収録や、作品絡みのイベントに出演する。最近では、ゲームのキャラクターに声を当てることも増えてきた。セリフが多い案件は段ボール箱一杯の台本が送られてくる。花江は10年のキャリアで喉に負荷がかかりにくい喋り方<sup>しゃべ</sup>を身につけたという。声優事務所も声の仕事<sup>しごと</sup>を連続6時間程度に抑えるよう調整するが、売れっ子になればなるほど喉、そして体への負担が大きくなることは避けられない。

日本に声優と呼ばれる人たちは1万人以上いると言われている。そのうち、声優専業で食べているのは300人ほど。芸能界全般に言えることかもしれないが、甘くない。

声優の報酬は、多くの場合、日本俳優連合が定めた「ランク」によって決まる。デビューから5年は新人育成期間の「ジュニアランク」で、作品の尺やセリフの数に関係なく報酬は1本1万5000円。たった一言でも1万5000円、長尺の吹き込みでも1万5000円だ。5年を過ぎると報酬が上がる。30分のテレビアニメ1本に出演となれば、最初の1万5000円に180%を掛けて2万7000円。明朝会計。二次使用等がある場合は、これにその分の金額が付加される。

実は、つい最近まで「ジュニアランク」は3年だった。これが5年に延びたのは、4年目にパタリと仕事がなくなる声優が増え過ぎたからだ。制作費が軒並み削減される中、起用する側は、4年目の売れない声優に2万7000円<sup>ちゅうちよ</sup>払うことを躊躇する。新人ならば1万5000円で済むからだ。「長尺OKで1人で何役もできる器用な新人い

ますか？」というオーダーが後を絶たない。2年延びたことで、売れっ子になるチャンスをつかめるかどうかはわからない。しかし、新人育成期間をどう過ごすかで声優としての将来がほぼ決まるということは間違いなさそうだ。では、声優にとって割のよい仕事はどこにあるのか。

声優にとって代表的なのは、テレビやラジオのコマーシャルだ。実は、「ランク」によって報酬が決まるのはアニメや吹き替えの仕事。コマーシャルはそれに含まれない。ゲームのキャラクター、イベント、システム等のナビゲーション、遊技機も同様に報酬が高くなる傾向にあるという。

それでは、どんな新人が売れっ子声優になっていくのだろうか。売れる可能性が高いのは、やはりコミュニケーション能力に<sup>た</sup>長けた新人だという。これは、良好な人間関係を築く力というより、オーディションや収録の現場で、自分の「使いどころ」を相手に理解してもらってセルフプロデュース能力に近いかもしれない。それがうまく伝えられれば、別の仕事でまた呼んでもらえる可能性が高まる。

加えて年々ハードルが上がっているのは容姿だ。昨今、作品関連の動画配信やイベントへの出演など、声優自身が顔出しをする仕事が増えている。特に女性声優の場合、歌って踊れるアイドルの役割を期待されるケースもある。起用する側のニーズがそこにある以上、声優事務所はそれを無視できない。一部で「養成所の時点で容姿選考を厳しくすべきでは」という声も上がっているという。

一般企業においても、「顔採用」と揶揄されるケースはそこらじゅうに転がっている。容姿はぱっと目を引く差別化要素の一つだ。だが、その市場価値を保ち続けるのは並大抵のことではない。結局は、容姿のアドバンテージが効くうちに、現場で必要とされる表現力や即応力を身につける必要があるのだと思う。

花江は高校生のとき、トップ声優の<sup>やまでらこういち</sup>山寺宏一に憧れ、彼が所属する会社にボイスサンプルを送った。その事務所、アクロスエンタテインメントは現在、山寺、花江の他にもバラエティ番組でもお馴染みの<sup>なじ</sup>金田<sup>かねだともこ</sup>朋子、「ラブライブ！」などで活躍する<sup>うちだ</sup>内田<sup>あや</sup>彩といった人気声優を抱えており、業界内でも一目置かれる存在だ。

そのアクロスエンタテインメントが、AIを活用した合成音声技術によって、収録なしで声優の声をアプリやゲームに実装できるソリューションの開発に協力しているという。NTTドコモ、NTTテクノクロス、GADGET（ガジェット）、そして、アク

ロスエンタテインメントの4社は、2020年11月、合成音声ソリューション「Future Voice Actors」を発表。アクロスエンタテインメント所属の声優24人の声をラインナップした。「Future Voice Actors」は、感情表現を細かく調整することで、声優本人の話し声に近いクオリティを目指したという。

さらに、アプリ開発会社のサイバードが提供するライフスタイルサポートアプリ「エムノア」に、花江、内田の合成音声を先行導入した。実際に「エムノア」をダウンロードし、「おはよう、起きる時間だよ」という花江の声を目覚ましに設定してみた。機械的な単調さはなく、アニメのキャラクターに起こされている感覚だ。

「この取り組みに抵抗感を示す声優やマネージャーはもちろんいます」。そう語るのは、アクロスエンタテインメントでこのプロジェクトをリードする松木靖卓<sup>まつき やすたか</sup>だ。松木は、大学卒業と同時に映画配給会社に就職、テレビの制作会社を経て現職と、一貫してエンターテインメントの世界に身を置くベテランだ。世間を騒がす「人間の仕事を奪うAI」よろしく、合成音声は声優の仕事を奪うディスラプターそのものに思える。松木はなぜ、そんな合成音声技術に声優業界の明るい未来を見るのか。その謎を解いていこう。

話は世界がWindows 95の発売に沸いた翌年、1996年にまでさかのぼる。松木は、仕事仲間の浅見敬<sup>あさみ たかし</sup>が映画業界を去ったと風の便りに聞いた。本人をつかまえて聞いてみると、なんでも米国の大手インターネットプロバイダーに転職するらしい。「これからはインターネットの時代だ」、当時は、浅見が何を言っているのかさっぱりわからなかった。時は流れ、2017年。浅見は、電子書籍サービスを手掛けるGADGETのCEOとして、NTTドコモに一つのアイデアを持ち込んだ。

「スマートスピーカーが出たときに、これを声優さんやキャラクターの声でできたら面白いなと思ったんです。このときはまだ思いつきレベルだったのですが、NTTドコモ・ベンチャーズから出資を受けていた縁もあって相談してみました」

NTTドコモは、思いのほか乗り気だった。実は「あらゆるモノに対話型AIサービスを」を合言葉に、合成音声ソリューションの研究開発プロジェクト「Project: SEBASTIEN（プロジェクト・セバスチャン）」をスタートさせたばかりだったのだ。

2017年といえば、日本にもスマートスピーカーが本格的に普及し始めた時期だ。

NTTグループ内部では、NTTテクノクロスがディープラーニングによって少しの音声で劇的にその人に似せた合成音声を作り出すことに成功していた。今後さらに普及するであろう「喋るプロダクト」、そこに命を宿らせるのは「声」に他ならない。アナウンサーのように落ち着いた声、優しいおばあちゃんの声、無邪気な子供の声、そのプロダクトの性格に合わせた声が求められるようになるはずだ。

NTTテクノクロスの<sup>とりいたかし</sup>鳥居崇は、当時の状況をこう語る。

「浅見さんからお話をいただく前に、プロジェクト・セバスチャンではすでに50種類以上の合成音声を作成していました。初めは色のついていない声でしたが、チーム内にアニメや声優が大好きなメンバーがいて、この人の声がいい、あの人の声もいと盛り上がっているうちに、実際に打診して、声優の音声を使った合成音声を作り始めていました」

このプロジェクトの市場価値を最も高める方法は、鉄腕アトムやドラえもんといった誰もが知るキャラクターに喋ってもらうことだ。だが、長くコンテンツビジネスに携わってきた浅見には、既存のキャラクターの合成音声を作り、商用化することの難しさがよくわかっていた。しかし、声優のオリジナル音声ならば、声優本人や所属事務所との話し合いで事を進められる。浅見は、真っ先に松木を訪ねた。

「スマートスピーカーで好きな声優やキャラクターと会話ができたら、人は笑顔になると思いませんか?」。久しぶりに会う浅見は、「これからはインターネットの時代だ」と話した当時と変わらず未来を生きていた。松木は、6年前の決意を思い出していた。

アクロスエンタテインメントは、2008年4月、山寺宏一のチーフマネージャー<sup>ふじさきじゆん</sup>藤崎淳が、芸能事務所と制作会社を兼ねて創業。松木はその4カ月後に入社し、多忙な日々を送っていた。状況が一変したのは、2011年3月11日。メディアは一瞬にして震災報道一色となった。決まっていた仕事があればあれよあれよという間に飛んでいく。痛いほど自覚させられたのは、「エンターテインメントは不要不急、人が生活していく上でなくてもいい仕事」ということだった。

同時に、エンターテインメントにできることは何か考えた。エンターテインメントがなくても人は生きていける。でも、あれば少し<sup>うれ</sup>嬉しい。エンターテインメントは人生に潤いを与えられる。そこに価値を見出してくれる人がいてくれるからこそ、自分

たちは存在できる。こんなにも本質的な問いに自問自答を繰り返すのは、長い業界生活で初めてのことだった。感謝の気持ちが生まれていた。テレビに笑いが戻るまで、できることはなかった。ただ、いつか恩返しになるような仕事をするに心に決めた。

「スマートスピーカーで好きな声優やキャラクターと会話ができたら、人は笑顔になると思いませんか?」、その言葉に松木は、雷に打たれた気がした。そうだ、これが我々の仕事の本質だ。今度こそ、テレビやラジオ、舞台といった枠を越え、エンターテインメントが人々の生活に寄り添い、人々を笑顔にできるのではないか。それだったらもう最高なんじゃないか、と。

最も気になるのは、「合成音声技術によって声優の仕事が奪われる」という観点だ。まず大前提として、アニメや外国映画の吹き替えの仕事は、いわゆる業界4団体（日本俳優連合、日本音声製作者連盟、日本芸能マネージメント事業者協会、日本声優事業社協議会）が定めたルールで運用されている。合成音声でのアテレコは禁止されているわけではないが、先人たちが築いてきた「声優文化」を守るという観点から、そこは侵してはいけない聖域だと松木は言う。そのため現状では、アニメや吹き替えといった仕事が合成音声に奪われることはない。問題はそれ以外のゲームやコマーシャル、遊技機といった一般的に案件単価の高い仕事だ。

一部の声優は、合成音声によって自分の仕事がなくなるのではと不安視する。また、一部のマネージャーは、クライアントが合成音声でいいやとなれば案件単価が下がっていくのではと危惧する。これらの懸念はもつともだ。なぜなら、これまでの合成音声の案件は、「買い取り」と言って、一度報酬を支払えば二次使用料が支払われることなく無制限に使われてしまうケースがほとんどだったのだ。これでは生声の仕事を毀損する存在と言われても仕方がない。

「これが実情ですから、どこの声優事務所も合成音声が普及すれば損をと思っています。今は、新たなビジネス機会を創出できる可能性と同時に、声優や声優事務所が不利にならない契約にすること、どの程度発話されているかトレースできるシステムもあるということの一つ一つ説明している段階です」と、松木は語る。

松木が考える、合成音声によって生み出される新たなビジネス機会とはどういったものなのか。例えば、多言語化だ。日本の声優は海外でも高い人気を誇っている。合成音声によって声優本人の声質で多言語対応が可能になれば、世界中からオファーが

舞い込んでくる可能性があるという。

また、合成音声によって声優本人が稼働することなくゲームやアプリが制作できるとなれば、声優1人あたりの生産性は何倍にも上がる。言うなれば、声優本人が働かなくても合成音声稼いでくれるというわけだ。現状、ゲーム音声の収録は、セリフの数に比例して収録時間も長くなる。合成音声ならば、声優の喉への負担も解消できる。

声優本人が亡くなった後も仕事が受けられる。人工知能で歌手の美空ひばりをよみがえらせたプロジェクトは記憶に新しい。声優の場合、スタジオで収録したクオリティの高い音声が残っているため、技術的にはおそらく精度の高いものができる。遺族への印税配分も可能だ。「でも肝心なのは、生前のご本人の意思とご遺族の意思、所属事務所の意思が尊重されること。これから慎重にルール作りをしていくべきところですよ」

(出題にあたっては小見出しを省略し、体裁を改めた)



## 令和4年度入学試験 小論文「出題意図」

## (入試情報公開用)

## 経済経営学類 一般選抜 後期日程

大学教育をはじめ、高等教育の場であればどこでも、与えられた情報を正確に読み取る読解力、資料を整理し再構築する構成力、そして学んだ知識・経験を踏まえ、形成した自分の主張を自らの言葉で明快かつ簡潔に表現する文章力は、基礎的学力として前提とされる能力の一つである。

本出題は、DX（デジタルトランスフォーメーション）について書かれた資料を与え、そこから著者の論点を的確に読み取り、論点を整理・再構築する力を試す目的で出題した。あわせて、この論点に対する自分の意見をまとめ、正確に、かつわかりやすく、表現する能力があるかを判定したいという意図も、出題した理由の一つである。